

森林・林業技術交流発表集

令和7年度

東北森林管理局

ごあいさつ

東北森林管理局長 箕輪 富男

令和7年度森林・林業技術交流発表会の開催にあたり、主催者として、ご挨拶申し上げます。

本日は、皆様、業務ご多忙の折、また足元が悪い中、ご参加いただき、誠にありがとうございます。

また、ご来賓の日本森林技術協会小島理事長様、日本森林林業振興会秋田支部難波支部長様、日本森林林業振興会青森支部東海林総務部長様、東北森林管理局林政記者クラブ代表幹事の酒井様にご臨席いただくとともに、当発表会の開催にご支援、ご協力を賜りました各県、関係団体の皆様に心より御礼を申し上げます。

さらに審査委員をお引き受けいただきました、審査委員長の山形大学芦谷教授をはじめ審査委員の皆様におかれては、本日から明日にかけての2日間の長時間の審査となりますが、どうぞよろしく申し上げます。

さて、本発表会については、森林・林業・木材産業の活性化等を推進するための諸課題に対する取組の情報提供、意見交換等を行い、関係者の技術の普及・向上及び交流の推進に寄与することを目的として開催しております。

また、民有林・国有林の関係者等が一堂に会した発表会となっており、東北森林管理局の局署のみならず、青森県、宮城県、秋田県、山形県の各県、秋田県立大学、東北農林専門職大学付属農林大学校、青森県立五所川原農林高等学校、秋田県立秋田北鷹高等学校、山形県立新庄神室産業高等学校の5校の皆様からも発表をいただくこととしています。

発表者の皆様方におかれてましては、日頃の業務や学業でご多忙の中、発表の準備を進めていただき、改めて御礼申し上げます。

本日と明日の2日間で36課題の発表が予定されておりますが、その内容をみますと、森林施業の省力化やICTを活用した業務の効率化、松くい虫やクマ被害、山火事の森林被害対策、森林環境教育や地域資源の有効

利用の取り組みなど多岐にわたっていますし、いずれも森林・林業等の諸課題に寄与する、テーマという風に考えているところです。私自身、皆さんの発表を聞くのを楽しみにしております。

さらに、明日の特別講演としては、林木育種センター東北育種場の井城育種課長により「東北育種基本区におけるスギ・カラマツ次世代化の現在地」を題した特別講演をいただくこととしており、再造林・保育の省力化等に寄与するエリートツリーの開発状況について、大変有意義な講演になると思いますので、是非とも拝聴いただければ幸いです。

最後になりますが、本発表会が、皆様が日頃から抱える、森林・林業・木材産業の各種課題の解決に寄与するとともに、多くの関係者の皆さんが集まっておりますので、連携をより一層深める契機となれば幸いです。本日と明日の2日間、最後まで何卒よろしくお願い申し上げます。